

教育課程編成委員会 第2回議事録

日時：2014年10月3日(金) 19時～20時10分

場所：東京YMCA医療福祉専門学校 15 教室

出席者：白井幸久氏、三沢幸史氏、望月太敦氏、小檜山修平氏、八尾 勝氏、倉持有希子氏、
上松 剛氏

列席者：加藤和貴氏、寺口博貴氏、林 恵子氏

I. 聖書日課 ヨハネの黙示録 八尾校長朗読

聖書および解説を校長が朗読した。

II. 議事

1. 校長挨拶

教育課程編成委員会は職業実践専門課程で求められている委員会の一つであり、関連業界の皆様
の意見をカリキュラムに反映させることが目的である。指定科目が多いためカリキュラムを変更
することはむずかしい面もあるが、昨年度の委員会で出された意見を今年度のカリキュラムで実
践することができた。

当校は昨年度、職業実践専門課程の申請をし、無事、両学科ともに文部科学大臣から認可を受け
ることができた。専門学校に対する社会的評価が定まっていない中、職業実践専門課程に認定さ
れた学校はその質が保証されていることを社会にアピールしていきたいと考えていた中、2校が
虚偽の記載をした為に認定を取り消されたことは大変遺憾である。

本校は今後も委員の皆様のご意見を取り入れながら、より良い教育を実践してゆきたい。

10/1～は現役の高校生の出願がスタートした。介護福祉科は一昨年は80名～90名の出願があ
り学生を選ぶことができたが、去年から出願者が減少気味で今年の入試も苦戦が予想される。オ
ープンキャンパスの参加人数も昨年の6割程度である。一方、作業療法学科はオープンキャン
パスは昨年並みの参加があり、今年の出願も昨年並み（定員30名に対し50名の出願）と見込ん
でいる。

従来の教育訓練給付金の制度が大幅に拡大された。2015年4月開始の制度で、条件を満たし、
指定校となった教育課程に入学した場合、本校の介護福祉科の場合、年間32万円×2年間のバ
ック。さらに卒業時に就職が決まっていれば16万円×2年間分のバック。合計96万円を支給
される制度である。本校の介護福祉科が指定を受けた。今後の課題はこの制度をいかに周知させ
るかである。HPにはすでにアップした。

2. 委員長（議長）選出

白井先生を八尾校長が推薦。全員一致で決定。

白井先生より、ここから各部会に分かれ、7時50分まで（約40分）それぞれの学科で話し合いを行うこととなった。

3. 部会に移動

介護福祉科の部会：白井氏、望月氏、倉持氏、寺口氏

作業療法学科の部会：三沢氏、小檜山氏、上松氏、加藤氏

それぞれの学科長がはじめに前回委員会のご意見を受けて取り組み中の事柄について説明を行った後、委員からの質疑応答、意見交換を行った。

4. 部会報告

（それぞれの部会の記録は別紙の通りである。より詳細が記録されている。）

介護福祉科 倉持氏より次のように報告があった。

前回の委員会でシラバスの強化が必要だというご意見をいただき、教員会議で話し合い、工夫をした。また、2年間の科目履修の流れが分かる全体図（マップ）があると学生募集で役立つのではというご意見に対しては、現在マップの作成中である。時期ごとの目標なども加えわかりやすいマップに仕上げたい。

今日の話し合いでは、介護分野の理解を深めたり、退学者を減らすための授業を行ってはどうかという意見を委員からいただいた。このことは必要なことであると教員達も考えており、現在教員会議の中でもアイデアが出されている。例えば実習先施設と学校で協力し、学生達に特養の良さをもっとわかってもらえるためのキャンプの企画があったり、マスコミや介護福祉士会とも協力をしてイメージアップにつなげていきたいといったアイデアなどが出ている。

また、地域で困っている人達に情報発信できる介護福祉士を育ててほしいという委員からの意見に対しては、今年度の学習支援演習や介護の基本の中で、学生に伝えていくような努力をしているが、今後さらに色々な場面で伝えていきたい。そして学生達が持っている介護福祉士としての情報を自分の中だけで完結させるのではなく、地域に発信していけるようにしていきたい。

作業療法学科 上松氏より次のように報告があった。

実技のできる学生を育てるための方法として、臨床のOTがサブで演習に入ってはどうかというご意見を前回いただいたが、三沢委員の協力を得て、10月中旬に多摩丘陵病院から3名のOTに来ていただけることになっている。

授業の中では実技のウエイトを増やすなどの工夫をし、体が覚えるくらいたたきこんでゆきたい。学校と臨床の間の風通しを良くするための工夫として、昨年から当事者に来校してもらい治療学の授業で協力してもらっている。また、三沢委員らの協力を得て、3つのに病院に実際学生達がグループごとに行き、臨床現場のOTから講義を受けた。小檜山委員をはじめ卒業生数名には学内での特別講義をお願いした。ペーパーパシエントについては、小檜山委員の協力で、よりリアルな患者像を学生達に見せることができた。

実習への「不安感」を抱えている学生が多く見受けられる。臨床との風通しを良くすることで解

消されていくことを期待したが、まだその「不安感」は消えていない。この点に関しても、今後卒業生が多く関わることで良い方向へ向くことを期待する。

5. その他（後半の予定）

事務局より、報償費の説明後、今後の主な学校行事について説明があった。

10月 6日（月）16時半～ 石巻ワークキャンプの報告会

12月18日（木）18時～19時 クリスマス礼拝 於：くにたち教会

2月26日（木）27日（金）介護福祉科卒業研究発表会

3月13日（金）卒業式

4月 6日（月）入学式

5月13日（水）作業療法学科卒業論文発表会

6月11日（木）開校20周年記念行事 於：パレスホテル立川

記録 林恵子